

# 認知症の種類

約半数

## アルツハイマー型認知症

- 脳の神経細胞の働きが失われ、脳の機能が低下することが原因
- 画像診断で脳の萎縮がわかる
- 物忘れの自覚がない
- 人格が変わることがある
- ゆるやかに進行する

## 血管性認知症

- 脳梗塞や脳出血など脳血管性疾患が原因
- 機能低下はただちに起こる
- 初期は物忘れの自覚がある
- 人格や判断力は比較的保たれる
- 再発のたびに段階的に進行する

## レビー小体型認知症

- 目の前にいないはずの虫や動物、人が見える
- 手足のふるえ、筋肉の硬直が起こりやすい
- 歩行が小刻みになり、転倒しやすい
- 被害妄想が起こりやすい
- 人格は比較的保たれる
- ゆるやかに進行する

## 前頭側頭型認知症

- 同じ行動や言葉をくりかえす
- 万引きや信号無視などの社会ルールに悪意なく違反する
- こだわりが強く柔軟な対応ができづらい
- 集中力・自発性がなくなる
- 怒りっぽくなる
- 昔は「ピック病」といわれていた
- ゆっくりと進行する

## 軽度認知障害(MCI)とは・・・ 正常と認知症の間の状態

- この段階で治療を始めたり、生活習慣を整えることで認知症への移行を防ぐことが期待できます。
- 物忘れ、日付や曜日が分からなくなる、怒りっぽくなる、話の理解ができなくなる、意欲が低下するなどの徴候が現れます。

## 若年性認知症とは・・・ 64歳以下の方が発症する認知症の総称

- 仕事でミスが重なったり、家事がおっくうになっても、疲れや更年期症状などと思って診断が遅れることが多くなります。
- 経済的問題や家庭内の課題が発生します。